

学校だより 希望の鐘

ひとつの希望は、いまだにひらかない



八 戸 市 立 小中野中学校

平成28年7月21日(木)

No.55 文責：校長
工藤 聡

快適な夏休みにするための「ダメよ～ダメダメ」10か条

明日から31日間の夏休みです。1年生は中学生として迎える最初の夏休み、逆に3年生は義務教育最後の夏休みであり、いよいよ進路に向かって具体的な挑戦が始まる休みでもあります。2年生も、9月の市中体秋季大会を目指したり、部活動の中心となって活動するわけで、昨年とは違う休みとなるはず。部活動や出校日、特に3年生は学習会（高校の体験入学を含む）で、かなりの日数で学校に来ることになります。宿題もいっぱいあります。それでも、朝から夕方まで学校にいて、授業も5～6時間あり、しかも清掃などもある普通の日とは違い、自由になる時間がいっぱい。しかし、ここでかん違いをしないでください。みなさんにとっては、夏休みであろうと、12月からの冬休みであろうと、はたまた普段の学校生活であろうと、やるべきことは同じで、やってはいけないことも同じなのです。長期の休みということで、開放的な雰囲気にならなくなっては、健全（ケンゼン：すこやかで病気のないこと。生活などがかたよらず、あぶなげなく確かなこと）な夏休みはおくれなと思います。夏休みを快適におくるためには、いろいろな誘惑や弱い心に勝たなければなりません。そして、その誘惑や弱い心は、外から来るものではなくて、自分自身の中にこそあるのです。そういう心や気持ちに克つ（カツ：努力しておさえつけること）ためには、自分自身に「ダメ！」と言わなければなりません。そこで、老婆心（ロウバシン：必要以上の親切心）ながら、夏休みを快適におくるために、「ダメよ～ダメダメ10か条」を考えてみましょう。（日本エレキテル連合、今はどうしているのでしょうか？）

① 外見ばかりに、こだわっては「ダメよ～ダメダメ」

中学生は、ものすごく外見（ガイケン：外形的な様子。そとみ）を気にする年頃です。体も大きくなってくので、大人のマネをしてオシャレをしてみたいもの。髪の毛を茶色に染めてみたり、眉毛を細くしてみたり、耳にピアスをしてみたり…。あるいは、学校に来る時に、白いTシャツではなくて、はでな色のシャツや模様のついたシャツを着たいものかもしれません。しかしそれは、夏休みだからといって許されることではないのです。たった一回と思っても、それが二回、三回とかさなっていくものなのです。よく「服装の乱れは心の乱れ」と言います。心がガラガラするからそれが服装にも表れるのだと思いますが、とにかく外見ばかりにこだわらず、普段どおりのしっかりした服装で生活してください。学校や家庭をはなれて、いろいろな所に出掛ける機会も多いと思いますが、それもキチンとした服装でお願いします。

② 甘えて群れては「ダメよ～ダメダメ」

どこに行くにも誰かといっしょでなければならない、という人をよく見かけます。私がH中にいた時は、必ず誘いあってトイレとかにも出掛ける人もいました。中学生というのは友達をいっぱいつくれる時期なので、何の目的で集まるかが問題となってくるのです。よく友達同士で、勉強することを理由に集まる場合があります。これは効果は期待できません。勉強をやっている気持ちにはなれますが、友達同士でやるよりは、自分一人で行った方がはるかに効果があることは、これまでの中学生たちを見てよくわかります。いつでもどこでも誰かといいたいという気持ちもわからないではありませんが、「群れる」という行動は、自分に自信のない者が、誰かといれば安心だからという気持ちから取る行動だと私は思っています。しかも、「群れる」ことで心がマヒし、一人では絶対やらないような「やってはいけないこと」を集団でやってしまうこともあるのです。甘えないで、一人でできることは一人で集中してやりたいですね。八戸市内の他の中学生の中には、スマホのライン等のやりとりでトラブルに発展したりしていることも数多くあるようです。特に気をつけたいことのひとつです。他校生とのつきあいも慎重にしたいですね。

③ 殻に閉じこもっては「ダメよ～ダメダメ」

「群れる」ことはいいことではありませんが、かといって、常に一人であるということも、現代社会ではなかなか難しいことです。いろいろな人達が、様々な影響を及ぼしあって生活しているのですから、人とのつきあいは大切です。夏休みは学校での授業がない分、友人たちとのつきあいはもっぱら部活動や学習会になります。毎日の生活のリズムを整えるためにも自分の殻に閉じこもらずに、学校行事はもちろん、地域の行事とかにも積極的に参加しましょう。（⇒裏へ続きます）